

教育  
広報

# あきる野の教育

2025(令和7)年3月1日

編集・発行 あきる野市教育委員会

〒197-0814

あきる野市二宮350

☎042(558)1111(代)

## 令和6年度あきる野市教育の日

# 第29回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会



令和6年12月7日「令和6年あきる野市教育の日」に第29回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会を秋川キララホールで開催しました。

中学生の主張大会では、市内に在住・在学の中学生の応募者1353人の中から選ばれた14人の生徒が、日常生活を通じて考えていること、願いや希望などを発表しました。

発表審査の結果、最優秀賞1人、優秀賞3人、優良賞10人を決定し、表彰しました。

最優秀賞を受賞した川本さんには、令和7年あきる野市議会第1回定例会開会会議前に、議場で受賞作品を発表していただきました。

また、小学生の人権メッセージ発表では、市立小学校を代表して、西秋留小学校と増戸小学校の児童が、人権について考えていることを発表しました。中学生の主張大会において、最優秀賞を受賞した作品を紹介いたします。

第29回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会の様子や発表者の紹介、大会の結果など左記の二次元バーコードからあきる野市ホームページにてご覧ください。



最優秀賞

### 「皆に幸あれ」

東中学校2年  
川本桜子



「いじめは絶対にあってはならない」

いじめは悪いことだと知っていても、いじめは後を絶たない。

文科科学省の調査によると令和4年度、中学校におけるいじめの認知件数は11万1400件。こんなに多くの中学生がいじめによって身体や心に大きな傷を負っている。また、いじめによって苦しみ、耐えられず、自殺してしまった中学生のニュースもよく耳にする。そのようなニュースを聞く度に、彼らを救う術はなかったのか、と胸が締め付けられる。

ではなぜいじめはなくならないのだろうか。その原因はいじめの側の心の中にあるか、私は思う。不満や嫉妬、そのような心の中のモヤモヤを抑えきれなくなり、自分より弱い者を見つけては気が済むまでいじめ、それで心がすっきりしたり、満たされたりしたと錯覚する。だ

から誰もがいじめの加害者になり得るのだ。しかし、人をいじめたところで満足できる訳がない。いじめの側の心の状態も決して幸せとは言えないのだ。

さらには、未だに「いじめられる側にも原因がある」といった考え方を持つ人もいる。けれども、たといじめられる側にも原因があるとしても、それがその人をいじめていい理由にはならないと私は思う。いじめは100パーセントいじめられる側が悪いのだ。このような、いじめられる側にも問題があるといった考え方は、いじめがなかなかなくなりないひとつの大きな要因になっているのではないだろうか。

小学生の頃、私はノートに「バカ」「しね」と落書きをされたことがあった。誰が書いたのかわからない悪質ないたずらに、当時の私はとても傷つき、うらかったことを今でもはっきり覚えている。仲のよかった友人に嫌われていると知り、ショックを受け、クラスの全員が敵のような気がして大きな恐怖を覚えた。次の日から、私はまわりの人の目を気にしながら学校生活を送るようになった。怖くて苦しい、うしろもなかつた。結局、誰がやったのかはわからず、未解決のままその話は終わってしまった。とても悔しくて人を信じるのが怖くなった。そんな時母は私に対して、

「いつまでも落ち込んで立ち直れなかったら、いじめた人の思い通りになっちゃうよ。今まで通り全力で頑張りなさい。」と声を掛け、支え続けてくれた。母のこの言葉が私がいじめから立ち直るきっかけになった。この体験から、私は自分が悪いからいじめられるのだと自分を否定したり、自信をなくしたりしてはいけないと強く思うようになった。

今、いじめにあつて苦しんでいる人がいるならば一人で悩まなくていい、我慢せずに誰か信頼できる人に相談してほしいと私は伝えたい。いじめられているあなたはどこも悪くないから。

しかし、いじめられていても誰かに相談する勇気がない人もいる。彼らがいじめられ、限界が来るのを傍観するのではなく、私たちは彼らの声に耳を傾ける必要がある。私は見て見ぬふりをして、いじめに加担するような人間には決してなりたいくない。

一方で私たちは、誰かをいじめないと自分を肯定できない、いじめの側の心理を時には理解する必要もあるのかもしれない。なぜなら、彼らは人をいじめたいので幸せを感じられているわけではないからだ。だから私は、彼らを含め、全ての人が幸せにならなければならぬと思っている。皆が互いを尊重し合い、真の幸せを得られる社会の実現のために、私に何ができるのかを考えていきたい。